

# 小判君神社プロジェクト

——— 工業高校での学習成果を地域商店街の活性化に生かす ———

岡山県立岡山工業高等学校  
情報技術科 晴田和夫

## 1 はじめに

本校の生徒が通学路として利用している「奉還町商店街」から活性化に力を貸してほしいとの依頼があった。そこで各科の生徒の中から興味・関心を持ち制作意欲が旺盛な生徒を募り、「小判君神社プロジェクトチーム」を結成し、2年間にわたって神社製作に取り組んだ。神社が完成するまでの経緯と完成した神社、及びその活用について報告する。

## 2 奉還町商店街からの依頼内容

- 奉還町商店街の活性化のために愛される神社を造ってほしい。
- 小判君というキャラクターを使ってほしい。
- 移動式でコンパクトなもの
- ハイテクを使ったもの

## 3 小判君神社プロジェクト 各科の取組み

7科がそれぞれの学習内容に合わせて作業分担を決定するとともに、商店街の意向に沿うように創意工夫を積み重ね、神社を完成させた。

- **機械科** 移動用電動台車の製作



- **土木科** 石柱，鳥居の土台の製作



- **化学工学科** 七宝焼きによるプレートの製作



- デザイン科 神社のデザイン, 小判君人形, 鳥居の製作



- 建築科 神社の設計, 製作



- 情報技術科 神主・巫女ロボット



- 電気科 自動扉とおみくじ



#### 4 おわりに

このプロジェクトを通して、商店街の方々に大変感謝され、連携がさらに強まったと感じている。また製作の過程で、この神社に対する様々な意見や感想、要望等を聞いて改良に繋げるなど、実践的な学習をすることができた。神社の完成時、生徒たちの顔は完成の喜びと、商店街の活性化に貢献できた達成感と満足感で一杯であった。今後も継続的に発展させる長期プロジェクトとして取り組んでいきたい。



完成した小判君神社